



尾山台小だより

6月号

学校教育目標

「確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成」
～明るい子、考える子、たくましい子～

〔尾山台小ホームページ〕<http://www.city.ageo.lg.jp/site/oyamadai-elementaryschool>

または、「上尾市」ホームページ→「上尾市立幼小中学校」→「尾山台小学校」をクリック

自からの選択を通して、「自立した学習者」に育つ

校長 熊坂 由美子

本校では、子供たちの主体性を育てる教育に力を入れています。授業では、教師主導型の学習だけでなく、子供自らが学習計画を立て、学習進度を調整しながら学ぶ学習方法の研究に取り組んでいます。「単元内自由進度学習」と呼ばれる学習方法です。昨年度より講師を招聘し、教員が研修しながら「2教科同時進行」で行っています。昨年度は、各学年、年間1～2回程度の実施でしたが、子供たちの感想は概ね良好。「自分のペースで学習できて楽しかった」「好きな場所で学習できてよかった」「学習問題をクリアできると嬉しかった」「今日はどちらの教科をやるか自分で決められるので、やる気が出た」などでした。さらに、単元終了後の評価テストの学級平均点が上昇する効果も見られました。

学校は、将来自立した社会人になるため、自立した学習者を育てる場所です。先生から指示された通りに、指示されたやり方で、詳しく教示されながら学習を進めることは、安心感のある中、学習に取り組めます。しかし、こうした学習方法の経験しかない、自分で計画を立てて試行錯誤しながら何かに取り組むことが苦手であったり、指示待ちになったりしてしまうことが考えられます。

これまでも、そうしたことを補うため、自主学習に取り組ませたり、課題を与えて一定時間その解決に充てたりするような学習には取り組んでまいりました。ただ、それだけでは不十分であると捉え、子供自らの選択を通して学習を進める方法を、全校で意図的に組み入れることにしました。

主体的に活動をする力は、休み時間にも発揮されます。本年度は日課を工夫し、週に1回40分間の長い活動時間を設けたことは、先月号でお知らせしました。集会活動や異学年交流の日は、計画を立ててからその時間を迎えますが、「ロングのびのびタイム」については、全くのフリータイムです。ルールは3つ。

①人の邪魔をしない②悪口や暴力は禁止③危険なことをしない、です。



初回、子供たちの様子を見てみると、思う存分好きな遊びに没頭している子もいれば、何をしようか決められずに歩き回っている子もいて、様々でした。2回目からは、活動場所に幅をもたせ、教室、多目的室、校庭、図書室の他に、体育館、音楽室、図工室、生活科室も開放したところ、体を動かす以外にも、本を読んだり、好きな絵を描いたり、楽器を演奏したりと、より自分の好みに合った過ごし方を見付けられる子が増えました。自由な活動の時間に何をするかを自分で決めることも、自立した学習者への一歩になると考えます。

是非ご家庭でも、お子さん自身が解決できる身近な問題については、お子さん自身が決定する経験を積ませていただけたらと思います。小さな選択を繰り返し、たくさんの失敗や成功を経験する中で、たくましい自立した学習者になってほしいと思います。